

活動名称

中勢鉄道の足跡を紹介

伊勢野 久好 さん

大正時代から昭和17年にかけて、久居地域の交通の要であった中勢軽便鉄道の廃線跡を白山町川口を起点に、一志、久居を通り、津の終着駅跡まで歩いて辿りながらSNS（Facebook）で紹介。今では知る人も少なくなった軽便鉄道の足跡を、現在との比較を通して紹介することで、その路線跡が現在にも受け継がれていることを伝える貴重な情報を発信されました。

この本を参考に、平成3年6月から8月にかけて、現地を歩いて確認し、FBとインスタにあげました。



国道165沿い、久居病院前を葉葉むいて撮影した写真。国道から左側に延びている道が、中勢鉄道の路線跡です。



蛇川に架かる橋の下に、中勢鉄道時代の橋台が残されています。



寺町の一本松。在りし日の姿。この松の道を挟んだ前に、寺町駅跡がありました。



1本松の前にあるたばこ屋さん。ここが、その駅のあった場所です。



現在の近鉄久居駅前ロータリー。この広場が、かつての中勢鉄道久居駅のあった場所です。



相川に架かる、中勢鉄道の橋台跡が、両側に綺麗に残っています。

よりお知りになりたい方は、このQRコードでFacebookにアクセスしてみてください。



～伊勢野さんのひと言～

いつも何気なく見ている景色の中に、「実は知らない」が隠されていることを実感する廃線跡の旅でした。